



こだま



ひむろこだま保育園 園だより
〈2024年3月29日発行〉

〒569-1141
高槻市氷室町1-21-12
TEL(本園) 072-695-1516
(分園) 072-695-1563



お知らせとお願い

保存版

■入園ハンドブックをよくお読みください

- ・ハンドブックには園生活を送るうえでの大切な事柄を記載しています。また、年間行事は訂正分と差し替えていただき、予定しておいて下さい。

■登降園について

- ・不審者対応のため、園への出入りは保護者証（QRカード）を必ずつけてください。
 - ・門のテンキー、開錠ボタン、門の開閉は必ず保護者の手で行ってください。次に入ってくる方のことを考えてしまうかもしれませんが、開けっ放しにしないよう安全確保のため必ず一回一回内鍵をしてください。声を掛け合しましょう。
 - ・テンキー番号は、年度ごとに4/1より変わります。送迎に関わる方以外には教えないでください。急なお迎えの方（祖父母など）は、インターホンで対応します。
 - ・保護者証（QRカード）での登降園受付を必ずしてください。カードケースは園指定のピンク色の紐のものになります。不足分がある場合は、園指定の物を購入してください。
- *保護者証（カード）を忘れた場合は、必ず事務所へ声をかけてください。
必ず19時までにお迎えをお願いします。

■遅刻・欠席連絡について

- ・遅刻や欠席の連絡は、**9:15まで**にお願いします。伝達もご兄弟もそれぞれにお願いします。連絡がなく休んでいる場合はこちらから連絡をさせていただきます。連絡の行き違いで連絡が二重になってしまうこともあります。ご了承ください。

■土曜日保育について

- ・毎週水曜の朝までに、土曜日登降園時刻記入表で出欠をお知らせ下さい。
- ・今年度より土曜日登録の方のみの土曜日登降園時刻記入表になっています。変則で保育が必要になった場合は、空白欄に名前を記入して時間を記入してください。土曜日登園の方は「保育希望時間」を お休みの方は備考欄に「休み」と記入してください。

■駐車の約束を守りましょう

- ・お車で送迎をされる方は事務所で自動車登録申込書をもらい、必ず動画視聴をしてください。
- みなさんが約束を守って下さることで地域から車の送迎を理解して頂いています。本園から一方通行で進んだ先の分園の角は左折しかできません。右斜めの橋は渡れません。自動車登録申込書の下にある動画視聴のチェックがない方は、車の使用はできませんので、ご了承ください。
- また、駐車の許可書をダッシュボードに必ず置いて下さい。今年度は、ピンク色になります。昨年度の黄色の許可証は処分して、今年度の方で申し込んでください。



■駐輪の約束を守りましょう

- ・自転車送迎される方には、狭いところに詰めて停めていただきありがとうございます。時間帯によってはたくさんの方が停めます。駐輪場の緑のラインを目安に、ラインに合わせて停めてください。



❀ご入園・ご進級おめでとうございます❀



暖かな春の陽気の中、「〇〇先生おはよう！」と笑顔で挨拶してくれる子どもたち。今月は、散歩に出かけたり園庭で春探しをしたりと、子どもたちと暖かな季節の訪れを楽しみたいと思います。

今年度は、新入園児35名、進級児133名、合計168名のお友だちでスタートします。進級のお友だちは、新しいお部屋にわくわくドキドキしながら期待が胸いっぱい膨らんでいます。新入園のお友だち、そして保護者の皆様は新しい生活に期待と不安があるかと思いますが、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添って、安心して過ごせるようにしていきたいと思っています。

子育ては喜びと共に大変なこともあります。子どもたちを中心に私たちにできることを考え、子どもたちの最善の利益が守られるよう、保護者の皆様と共に手をつないでいきたいと思っています。

今年度もよろしく申し上げます。

4月の行事予定

6日	土	きりんぐみ予約日
15日	月	身体測定（5歳）
16日	火	身体測定（4歳）
17日	水	身体測定（3歳）
18日	木	身体測定（2歳）
19日	金	身体測定（1歳）
22日	月	身体測定（0歳）
23日	火	誕生会
25日	木	避難訓練
27日	水	半日保育

今月の保育目標

- *新しい環境に慣れ、友だちと楽しくあそぶ。
- *入園・進級の喜びを感じ、新しい生活・あそびに意欲的に取りくむ。



ひむろこだま保育園では、『保護者と保育士が共育ち、共育ちの関係構築し、個性豊かな子どもの成長を促します』と保育目標にも掲げています。

私たち職員は、子どもの成長が一番の喜びです。でもそれと同じようにもう一つ、保護者の方がひとりではなく、一緒に子育てを楽しみ、働き続けていることに幸せを感じ、仕事のやりがいを感じます。保育園での成長をご家庭にもつなげていけるよう、ご家庭にもお願いすることができるとは思いますが、子どもたちの生活が豊かになるよう関わっていきましょう。